



3 登録又は再登録に関する事項

① 無線設備の規格	デジタル簡易無線局
② 無線設備の設置場所	全国の陸上及び日本周辺海域
③ 周波数及び空中線電力	351.03125～351.10000MHz 6.25kHz 間隔 12 波 W 351.20000～351.63125MHz 6.25kHz 間隔 70 波 W
④ 登録の番号	
⑤ 登録の年月日	
⑥ 希望する登録の有効期間	<記入不要>
⑦ 備考	

DJ-DP10は1W、それ以外の機種は5WになるようWの前に数字を記入してください。

有にチェックすると下で申告する期間分まとめて、無にチェックすると年に一回、電波利用料の納入告知書（請求書）が送られてきます。

4 電波利用料

① 電波利用料の前納

電波利用料の前納の申出の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
電波利用料の前納に係る期間	<input type="checkbox"/> 無線局の登録の有効期間まで前納します。 <input type="checkbox"/> その他（ 年）

電波利用料を前納しない場合は無に☑してください。

② 電波利用料納入告知書送付先（法人の場合に限る。）

1の欄と同一のため記載を省略します。

納入告知書を受け取りたい住所を記入します。申請者住所と同じであればこちらに☑するだけです。

住所	都道府県—市区町村コード [
	〒 ( - )
部署名	フリガナ

納入告知書を申請者住所とは異なる宛先に郵送を希望する場合に記入します。担当者に確実に郵便が届くよう部署名まで正確に記入してください。

5 申請の内容に関する連絡先

所属、氏名	フリガナ
電話番号	
電子メールアドレス	

この申請に関する内容がお分かりになる方の連絡先を、必ず正確にお書きください。

# 個別登録申請書に添付する別紙の書き方見本

※個別登録も包括登録も同じ用紙ですが、書き方が異なります。

同梱の書類のうち右下隅に（別紙）と印字された書類をご利用ください。

それぞれの区分に☑  
してください。

<別紙>

1 法人団体個人の別	<input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人	
2 住所	都道府県—市区町村コード [ ] 〒 ( - )	
3 氏名又は名称及び代表者氏名	電話番号	フリガナ
	フリガナ	
4 運用開始の予定期日	申請書に記入した日付から二週間以降先の日付を記入します。 西暦、和暦（元号）どちらでもかまいません。 (例) 令和4年10月1日 / (例) 2022年10月1日	
5 希望する登録の有効期間	<記入不要>	
6 開設の目的	簡易な業務用	
7 無線設備の常置場所	都道府県—市区町村コード [ ]	
	〒 (XXX—XXX) (記入例) 東京都中央区日本橋〇—〇〇—〇 〇〇ビル5F	
8 無線設備の工事設計の内容	識別符号	<注1>のCSM番号を記入します。
	適合表示無線設備の番号	<注2>の技適番号を記入します。
	製造番号	<注3>の製造番号を記入します。
	空中線の利得	<記入不要>
	指向方向	<記入不要>
9 備考		

法人は必ず登記されている本社（本店）住所で記入してください。支店、営業所、工場、出張所の住所では申請できません。

都道府県—市区町村コードは全て記入不要です。

法人または団体の場合は会社（団体）の名称および代表者名（肩書を含む）記入してください。  
(例) 法人：代表取締役 ●●●●  
          団体：理事長 ●●●●

無線設備を常置する住所を都道府県名から建物の名前まで正確に記入してください。

<注1>無線機本体に貼付の銘板をご覧の上、CSM番号をご記入ください。 例：20000501

CSM  
XXXXXXXXXX

銘板にCSMと印字されている付近の9桁の数字です。

<注2>銘板をご覧の上、技適番号をご記入ください。 例：001-P01044

㊚ XXXXXXXX  
XXXX

技適番号は郵便局の〒のマーク付近に印字されています。

<注3>銘板をご覧の上、製造番号をご記入ください。 例：T000701

ALINCO DJ-XXXX  
アルインコ株式会社  
MADE IN JAPAN  
XXXXXXXX 3R

製造番号は製品の化粧箱と保証書にも印字されています。

ローマ字1つから始まる6桁の番号です。

PF0368A

FNFG-NF (別紙見本個別)